

(公社) 奈良県診療放射線技師会 学術大会 2023

会員研究発表 演題募集のお知らせ

2023年10月22日(日) 会場：橿原市商工経済会館7階大ホール

『診療放射線技師の仕事を考える～故きを温め新しきを知る～』

大会テーマ	これまでの診療放射線技師法では、医師や歯科医師の指示のもとで、エックス線を用いた診断や治療を行う技術者の資格と業務を規定した法律から始まり、2014年(平成26年)には造影検査で使用した穿刺針を抜針できるようになった。そして2021年(令和3年)には我々に造影検査のために静脈路を確保する行為つまり穿刺という新たな領域へと引き上げられた。これにより、造影検査を診療放射線技師のみで完遂でき、他職種のスタッフとのタスクシフト・シェアに大いに貢献できる状況となった。 また、放射線科内でも、画像診断の補助を行うことで医療貢献に努めている。 今回の学術大会では、「業務範囲拡大をチャンスに変えるために」をテーマにシンポジウムを行います。多職種の穿刺への取り組み方をディスカッションすることで、各施設での取り組みの一助となるよう努めたい。
会員研究発表	各施設の日常業務の様々な工夫や研鑽を是非ご発表いただき、診療放射線技師の仕事の在り方に繋がる時間を共に過ごしましょう。 学術発表を経験されたい方、もっと経験を積みたい方もこの機会に是非チャレンジしてみませんか？皆様からの演題を心よりお待ちしております。
演題募集期間	2023年7月1日～2023年8月30日
発表形式	口述発表(プレゼンテーション7分、質疑3分)
応募資格	奈良県診療放射線技師会会員(但し、2022年度奈放技・日放技会費完納者) 入会手続き中の方も発表可
演題区分	「撮影技術」「機器管理」「接遇」「医療安全」「被ばく管理」「各種取り組み」 「線量管理システム導入に向けた取り組み」等
応募方法	下記のURLから演題募集フォームに必要事項を入力し、応募してください。 https://onl.tw/Qm61AMh 1) 一般的でない略語は避けるようにしてください。 用いる場合でも正式名称もしくは日本語名を併記してください。 2) 抄録本文は800字までとします。 3) タイトル内の英語はキャピタライゼーションルールに従ってください。 4) 本文中の句読点は全角の読点「、」および句点「。」を使用してください。 5) 演題の採否は学術委員会にて行い、募集期間終了後メールにて通知いたします。
利益相反の開示について	産学連携による臨床研究の適正な推進を図り、科学性・倫理性を担保に遂行された臨床研究成果の発表における中立性と透明性を確保するため、全ての発表に「利益相反(CoI)の開示を求めます。
研究の倫理面に関する注意事項	研究の倫理面に関する注意事項について応募演題の研究の内容により、厚生労働省などによる医学研究に関する指針および所属施設が定めた倫理規定を順守することが必要です。また人を対象とした研究では、あらかじめ所属施設などにおいて倫理審査委員会による承認を得ていることが必要です。
著作権に関する注意事項	演題登録に入力された個人情報は奈良県診療放射線技師会学術大会2023運営の目的以外で使用することはありません。また、スライド作成にあたっては他人の著作権の侵害、名誉毀損、その他の問題が生じないように十分に配慮してください。問題が生じた場合、発表者自身が責任を問われることがあるので、注意してください。

★併せて学術大会実行委員も募集中★問い合わせ 西奈良中央病院 細川 倫之(hosokawa@rokuen.jp)

※医療がひっ迫するなど、それ以外の感染拡大が生じた場合には、日時や場所の変更、あるいは開催を断念せざるを得ないことも予想されます。何卒ご理解ご了承のほどお願い申し上げます。